13　　姉と語らう　　　　　　　　　　　　　文法 注意したい訳し方の助動詞③

月いみじく隈なく明かきに、みな人も寝たる夜中ばかりに、縁に出でゐて、姉なる人、空をつくづくとながめて、「ただ今行方なく飛び失せアなばいかが思ふイべき」と問ふに、なま恐ろしと思へるけしきを見て、異事に言ひなして笑ひなどして聞けば、かたはらなる所に、先追ふ車とまりて、「荻の葉、荻の葉」と呼ばウすれど答へざなり。呼びわづらひて、笛をいとをかしく吹きすまして、Ⅰ過ぎぬなり。

　笛の音のただ秋風と聞こゆるになど荻の葉のそよとこたへぬ

と言ひたれば、げにとて、

　荻の葉のこたふるまでもⅡ吹きよらでただに過ぎぬる笛の音ぞ憂き

かやうに明くるまでながめあかいて、夜明けてぞみな人寝エぬる。【本文チェック】

①　ア～エの助動詞の、文法的意味・文中での活用形を〔　〕に書きなさい。

ア〔　　　　　・　　　　形〕　イ〔　　　　　・　　　　形〕

ウ〔　　　　　・　　　　形〕　エ〔　　　　　・　　　　形〕

②傍線部Ⅰ・Ⅱを現代語訳し、（　）に書きなさい。

Ⅰ（　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ⅱ（　　　　　　　　　　　　　　　　）

③和歌中の□と同内容を表す箇所を本文中から五字程度で探し、□で囲みなさい。

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

１　なし〔１〕　 ①（　　　　　　　　　　　　　）

②非常に　③抜け目がない

２　をかし〔４〕 　①（　　　　　　）

②かわいい

問２　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　命長きはうきことにこそありけれ。（栄花物語）

ア　うれしい　　イ　貧しい

ウ　浮ついた　　エ　つらい

（　　　）

２　人がらくせなく、かたはらのため見えにくきさませずだになりぬれば、憎うは侍るまじ。（紫式部日記）

ア　周囲の人　　イ　兄弟

ウ　主人　　　　エ　妻

　　（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の傍線部の文法的意味として適当なものを、後から選べ。

１　仏には人のなりたるなり。（徒然草）

（　　　）

２　吉野①なるの川のにぞ鳴く②なる山陰にして（徒然草）

①（　　　）　　②（　　　）

３　伝へて聞けば、この国より東に日本といふ国あなり。（宇治拾遺物語）

（　　　）

ア　推定　　イ　伝聞　　ウ　断定　　エ　存在

問４　次の傍線部の説明として適当なものを、後から選べ。

１　かぐや姫の、を見ていはく、「うるはしき皮なめり」（竹取物語）

２　すべて世の中いと騒がしかなり。　（うつほ物語）

３　いと長き人も、額髪はすこし短うぞあめるを。　（源氏物語）

ア　形容詞の活用語尾＋推定の助動詞

イ　断定の助動詞＋推定の助動詞

ウ　動詞の一部＋推定の助動詞

１（　　　）　　２（　　　）　　３（　　　）

問５　次の傍線部を現代語訳せよ。

１　あはれなりしことどもなり。（平家物語）

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　親王の若くおはしける世のことなど思ひ出づるなめり。（源氏物語）

（　　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】発展的に考えてみよう

問６　隣家の前での出来事について、姉妹はあれこれと想像しながら批評している。どちらかの考え方を選んで、それに対する自分の考えを詳しく述べよう。

ア　笛の音に反応しない女性の態度は感心しない。

イ　すぐに帰ってしまう男性の態度は感心しない。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

①　ア＝完了・未然　イ＝推量・連体　ウ＝使役・已然　エ＝完了・連体

②　Ⅰ＝過ぎてしまうようだ　Ⅱ＝吹き（続け言い）寄らないで

③　答へざなり〔４〕

問１　１＝陰になるところがない　２＝趣深い

問２　１＝エ　２＝ア

問３　１＝ウ　２　①＝エ　②＝ア　３＝イ

問４　１＝イ　２＝ア　３＝ウ

問５　１＝ことどもである　２＝思い出すのであるようだ

問６　観点　アについて、女性の態度が風流ではなく無粋だという読み方は成立する。男性に対する女性の思いがさほど深くないので仕方がないという考え方もよい。イについて、すぐに帰った男性の態度を潔いと評することもできる。

【現代語訳】

問２　１　寿命が長いということはつらいことであるよ。

２　人柄に癖がなく（素直で）、周囲の人にも付き合いにくい様子をしないようにさえなってしまえば、憎くはないでしょう。

問３　１　仏には人間がなっているのだ。

２　吉野にある夏実川の流れのよどみで鴨が鳴いているようだ、あの山陰で。

３　伝え聞くところによると、この国より東に日本という国があるそうだ。

問４　１　かぐや姫が、皮衣を見て言うことには、「立派な皮であるようだ」

２　総じて世の中がひどく騒がしいようだ。

３　どんなに（髪の）長い人でも、額髪は多少短くあるようだよ。

問５　１　感慨深いことどもである。

２　宮の若くいらっしゃった当時のことなどを思い出すのであるようだ。